事	業番号	14 05 0	06		ョ	5業2	対善シー	- <b>ト</b> (24	年度	医実施事業分	·) [	<b>]</b> 予算要求	□予算	<b>室</b> ■ 5	点検	
				NA 1				部局		<b>委員会事</b>						
事	業名	学校教育活動振興事業費								担	課・3	教学	教学指導課			
く参	······    考>	プロジェ								<b>当</b> 課			kyogaku@pref.nagano.lg.jp		g.jp	
	5か年	施策の総合的展開										実施期間			~	
1 3	事業の	)概要										J ( 30 / 7)				
目	*優れた文化芸術に触れる機会を通じ、豊かな感性に恵まれた生徒を育てる。 *各文化部門や学校文化部の取組の充実などにより、県内生徒の更なる技能力向上を目指す。 *生徒が、全国大会など高いレベルを目標に学習やクラブ活動などに取り組むことで、目的意識や向上心を育む。															
Ę	見状	・より多くの高校生が文化部へ加入し、学校での文化部の活性化が望まれている。 ・活動への取組状況には、学校によって差があり、活動・支援体制が明確でない学校では、活動が停滞している。														
	が関与 る理由	□民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 □その他()							【左記の説明、根拠法令等】 全県の活動の水準を高めるためには、県が一定の方向性を示して継続的な 支援をして行く必要がある。							
事業内容		・全国大会 ・教科学習 ② 事業内名 高等学校者 高等学校文化 大会生徒	① 成果目標(H24) ・全国大会・ブロック大会出場」・教科学習にかかわる全国大会 ② 事業内容 項目 高等学校教科競技大会派遣事業 高等学校文化・芸術フェスティバル事業 大会生徒派遣事業 高等学校芸術文化鑑賞事業			派     集     直     直     直       店     方     接     接     接	が ・全に ・全に ・をり、担 ・他国助 ・他国助 校がも ・他国がががい。	び北信越ブード では、大数を維めている。 では、大数を維めている。 では、大変に、では、大変に、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、					H24       (当初)     (決算)       1,596     1,438       5,000     5,000       10,800     10,800       3,000     3,000			立:千円) H25 (当初) 1,644 5,000 10,800 1,100
	区											標の達成状況				
	予	前年度繰越 当初予算	<u> </u>	0 27,874	25	0 5,774	20,396	18,544		項目		現況 見込)	目標	H 2 4 成果	達成状況	H25 目標
事業コスト	算 額 	<u> </u>		0	۷.	0	20,390	10,044		全国大会・ブロック	大会			州木		
	谼	合計(A)		27,874	25	5,774	20,396	18,544		出場文化系クラブ		15	15	15	達成	15
		国庫支出金		0		0	0	0		教科に係わる全国		17	17	17	達成	17
	Aの B+が声	県 債		0		0	0	0		派遣高校数(専門高	哥校)	1,	1,	11	X=7-X	1.
	財源	その他(諸収入	()	5,000		5,000	5,000	5,000								
	 決	一般財源 算 額(B)		22,874 27,432		),774 5,774	15,396 20,239	13,544								
	概算		)	2.00		2.00	2.00	2.00								
	人件費			16,634		5,516	16,516	16,516								
概算事		工業費(B(A)+C)				2,290	36,755	35,060								
	に対 成果 記況	現状数を約	推持でき	たいる。												

2 今後の事業の方向性

2 / 久 0 /	<u> </u>			
<b>人</b> 然 古坐	□ 事業を実施しない	□ 事業を見直して実施	■事業を現行どおり実施	
今後、事業 をどのよう	小規模校、遠隔地校、定時		三術に触れる機会をもたせるため、経費の一部を補助すること	は必要であるた
にしていき たいか。	め、引き続き事業を継続して	いく。	助することで、県全体の技術力をさらに向上させていく。	